

# 私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合  
No.7 2015年8月10日(火)

## 授業料減免制度の拡充を強く4県へ要請!! 北陸ブロックキャラバン

8月5日(水)~7日(金)の3日間、北陸ブロックでは私学助成制度の拡充を求めたブロックキャラバンが取り组まれました。3日間ともに、新潟私学助成をすすめる会から父母の参加も得て、全国各都道府県のデータとともに、父母の学費に対する生の声を届けました。新潟、富山、石川では新聞でも取り上げられました。

### 私学の学費 助成拡充を 要請キャラバン 本県皮切り 北陸各県へ



県私学の公費助成をすすめる会(中村直美会長)などは5日、私立高校生への学費助成の増額や拡充を求めるキャラバン活動をスタートした。初日は県庁を訪れ、泉田裕彦知事宛ての要望書を提出。「保護者の学費負担の軽減を図ってほしい」と訴えた。本県と富山、石川、福井の各県の保護者らでつくる6団体が、「北陸私学助成要請キャラバン」として昨年から実施している。

九州では8/3~7 そして  
四国で初のキャラバンが  
本日10、11日で取り组まれています。

助成制度の拡充などを求める「県私学の公費助成をすすめる会」の中村直美会長(左) 5日、県庁

中村会長は、県大学・私学振興課の村山雅彦課長に助成制度の拡充を要望。「公立高校に比べ私立高校の保護者の負担は大きい」と訴えた。村山課長は「高校生が経済的理由で学業を断念することがないよう、教育環境を整えたい」と応じた。

8/6  
新潟日報

北陸中日新聞 石川 2015.8.7 朝刊

#### 私立高学費助成 県に拡充を要請 保護者の6団体 私立高校の教職員、 生徒の保護者らでつく

「県私学助成をすすめる会」など6団体が6日、助成の抜本的な拡充を求める要望書を県に提出した。私立高校の教育環境をめぐっては、国が二〇一〇年度に就学支援金制度を始めた。各自治体が独自で学費軽減策に取り組んだことも奏功し、私立高の生徒数、その割合ともに増加。会によると、県内では〇九年度の約七千人(23%)から一四年度は約七千八百人(25%)に上昇した。しかし、一四年度に制度の見直しがあり、低所得世帯を中心に支援金が増額される一方、所得制限が実施された。(前口書等)

■私学助成拡充を要請 「富山の私学を育てる会」(会長 仲嶺政光富山大准教授)などが6日、県庁を訪れ、私学助成の増額・拡充を求める石井知事への要望書を提出した。私学助成拡充に取り組む富山、新潟、石川、福井の団体によるキャラバン活動の一環。本年度補正予算で県独自の学費軽減予算を増額・拡充し、年収350万円未満の世帯への学費無償化と入学金全額助成など公私間格差の是正や、経常費助成の増額・拡充などを求めた。提出後、同会の大野利明事務局長らが会見。支援が手厚い他県の例を説明し「住む自治体で自己負担が異なる状況が生まれている。学費助成、経常費助成を引き上げてもらいたい」と述べた。

北国新聞 富山 2015.8.7 朝刊

#### 私学助成拡充求める 育てる会、県に要請書

富山県の私学を育てる会(会長・仲嶺政光富山大准教授)は6日、私学助成の拡充を求める要請書を県に提出した。

要請書では、年収350万円未満の世帯を対象に学費を無償化するなど、県独自の学費軽減予算の増額・拡充を求めている。私立高校に対する経常費助成の増額・拡充や、年収590万円を超える世帯を対象に学費の公私間格差是正に向けた助成を行うことも要望した。

富山新聞 2015.8.7 朝刊

◆県に私学助成の拡充要請  
県私学助成をすすめる会など6団体が6日、私立高校への助成拡充を求める要請書を県に提出した。年収350万円未満の世帯に対して学費全額を無償にするよう、授業料助成の基準を現在の年収350万円未満から610万円程度に引き上げるよう求めた。県側は「私学助成の充実に努めている」と応じた。

北国新聞 石川 2015.8.7 朝刊

学費軽減予算  
拡充など要請  
県に教員らの会  
県内の教員らでつくる「県の私学を育てる会」(高岡市)が6日、学費軽減予算の拡充など四項目を挙げた要請書を県に提出した。

北陸中日新聞 富山 2015.8.7

石川と福井、新潟の三県の団体とのキャラバンとして県庁を訪れ、三百五十万円未満の低所得世帯への学費無償化と、入学金の全額助成を要請した。キャラバンは、二〇一〇年度に始まった国の就学支援金制度に合わせて、一部の県で学費軽減予算が削減されたことから、昨年から四県に要請書を提出している。(木許はるみ)